

第2回 横浜市富岡八幡公園こどもログハウス指定管理者選定委員会 会議録	
日 時	令和3年8月18日(水) 午前9時55分～午前11時45分
開催場所	金沢公会堂1・2号会議室
出席者	後藤委員長、魚谷委員、内倉委員、大胡委員、鈴木委員
欠席者	なし
開催形態	公開(傍聴人:なし) ※一部非公開
議 題	1 応募団体の面接審査 2 指定候補者の選定審議
決定事項	1 委員会の公開・非公開、面接審査の進め方、採点方法については、第1回指定管理者選定委員会で審議・決定した内容のとおりとすることを確認した。 2 特定非営利活動法人 Woodcraft を指定候補者と決定した。 3 報告書の作成、議事録の確認は委員長に一任する。
議 事	<p>1 応募団体の面接審査</p> <p>応募1団体について、15分間のプレゼンテーション後、20分程度の質疑応答を行った。</p> <p>2 応募団体との主な質疑</p> <p>(委員) 3点伺いたい。まず貴団体での「放課後キッズクラブ」の紹介があったが人材の確保と養成についてどのように行っているのか。次に利用者からのニーズや要望・苦情への対応について「カーテンの設置」を挙げられていたがそれ以外のどのようなものがあり、どのように対応したのか。最後に個人情報保護の観点からUSBの取扱いについて伺いたい。</p> <p>(団体) 人材確保については、重要な課題として捉えており地域を中心とした新聞の折り込みや地域のミニコミ等を中心に、ハローワークなどを併用して募集を行っている。人材養成はこれまでは自社で分野別に集合型の研修を行っていたが、コロナ以降は主にZoomを用いたオンラインでアレルギー研修や障害児対応に関する研修等を行っている。</p> <p>子どものメンタル面の研修については、社員に指導員資格を取得させており、資格取得時に実施している。</p> <p>来館者からのニーズ対応等について主なものとして、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊具の充実を図ってほしいという要望に対して、コロナ対策で消毒ができるものを準備しています。 ・地下通路及び2階を開放してほしいという要望に対しては緊急事態宣言が出ている間についてはご理解をいただき、宣言終了後開放したいと考えている。 ・苦情としてはログハウス前の倒木の処分を早くやってほしいとの要望が出ている。 <p>USBの使用については基本的に禁止しており本部に在籍するセキュリ</p>

ティ専門家の意見をもとに対策を実施している。また、社内ではサイボウズを利用しており、情報流出防止を第一の重点において研修を行っている。

(委員) 子どものメンタル面やコミュニケーションに関する研修は行っているのか。

(団体) 「放課後キッズクラブ」の指導員については放課後児童支援員という資格を取らなければならないため、そのための研修を1日7～8時間で計4日間受講している。資格習得後も毎年フォローアップ研修を行っている。

(委員) 事前にいただいた貸借対照表中の、「こどもふれあいゆめ空間事業」における「仮受金」の内容について伺いたい、仮受金のような仮勘定項目は本来会計年度内の処理でなくなるはずだが、どうして残って計上する形になっているのか。仮受金が毎年発生し、毎年160万円位増えていっている。これは消えることはないのか。そもそもこの内容が不明なので伺いたい。

(団体) 「こどもふれあいゆめ空間事業」については、長野県の廃校を借り上げ、運営しているものであるが、川から水を取り入れて飲料化するための経費等を計上している。

(委員) 毎年かかる費用であれば川の水については光熱水費に計上すべきであると考え。また、財産目録では本部からの資金を仮受金として計上していることについても、少なくともより具体的に注記等の説明が必要と考える。

(委員) 小破修繕については窓の修繕など様々な修繕を実施していることがわかり、いい取り組みであると思った。

主な施設利用者は小中学生や保護者であると考えが救命救急の考え方について教えてほしい。小学校ではすでに設置してあるAEDについて設置しているのか。特に幼児用の設置はあるのか。

第三者評価の中で施設長が外部研修を受講して研修内容を講師となってスタッフへ説明することが多いのではないかと。本部から専任の講師を随時派遣して行うことによってより法人本部と現場との連携が取れるのではないかと。

(団体) AEDについては子ども用の設置は行っている。幼児用については今後検討していきたい。

法人本部の取組については各施設で月1回行っているスタッフ会議にはできるだけ本部の職員が参加することとしている。

(委員) かつて利用した経験では夏熱く、冬寒い施設という印象だったが、エアコンを設置したり、図書コーナーにホットカーペットを敷いたり、ベランダで飲食が可能など利用者の要望に沿った様々な取り組みにより、使いやすい施設になってきていると考えている。

以前玄関横のロッカーにおにぎりなどの食べ物を置いていたらいつの間にか食べられていたり、ゲーム機がなくなったりすることがあったが、その後どのような対策を行っているのか。

(団体) ロッカーの位置を事務室内から常に監視できる場所に変更した。

また、食事については現在コロナ禍であるため飲み物だけ玄関とベランダで認めている。通常時は時間を決めて昼休みにベランダで飲食を認めている。

3 指定候補者の選定審議

評価基準項目に則り評価を行った結果、評点において最低基準（5割以上）を満たしたことから、特定非営利活動法人 Woodcraft を指定候補者として選定した。

<採点の集計結果>

団体名	評点（合計）
特定非営利活動法人 Woodcraft	394 点

(525 点満点中)

4 審査講評

指定管理者（特定非営利活動法人 Woodcraft）

これまでの事業の継続性が評価されたほか、第三者評価が高く地域との関係も良好であり利用者からの要望に対しても適切に応えてきており、コロナ禍における対応も適切であるなどの評価が高く、引き続き事業を継続していくことが適切であるとの意見が多かった。

一方で、法人本部と施設との管理監督等の指導についての関係強化が必要との指摘や救命救急の取組として幼児用の AED 設置検討や法人としての決算内容として仮勘定などの内容を明確化する必要があるなどの指摘があった。

資料・特記事項

なし